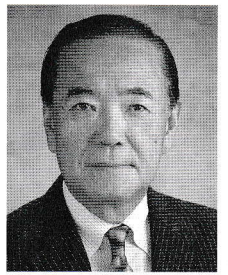


第50号
2021



目次

会長あいさつ	2
理事会	3
支部活動	4-5
叙勲等	6
三高生の活動	6-9
創立百周年記念式典	10
事務局から	10



同窓会活動の変革

大中三高会 会長 名 渕 薫
(三高24回卒)

会員の皆様には、母校の同窓会活動に変わらぬご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨今新型コロナウイルス感染症の蔓延、異常気象による甚大な災害が続き、国内外の予期せぬ情勢変化とともに、生活、経済において不安な日々も続いております。

一方、学校においては半世紀ぶりに新築されました新校舎、新体育館も緑深い校庭となつかしい旧(現第二体育館、百周年記念館等)が溶け込み、落ち着いた佇まいを醸し出しています。

さて、東京オリンピック、パラリンピックもコロナ禍の中、日本選手の多数のメダリストが生まれ、その活躍に沸きました。同窓会の中からもかつて6名が出場され、その中でも浜口喜博氏(大中40回、男木島出身)が、1952年のヘルシンキオリンピック800m男子自由形リレーで2着となり、銀メダリストの栄に輝きました。

また、1964年の東京オリンピックの折、聖火ランナーとして本校生徒18名が参加し、私も当時白鳥本町小学校の4年生で、国道11号より日の丸の手旗を振ったことが、臆けながら懐かしく思い出されます。

本会理事会も7月末に開催し、多数の

理事の出席の下、将来に向けた財務面の改革、地区別の役員から若い世代、女性役員の増員に向けて、卒業年度別構成への役員改選等が承認され、新たな同窓会活動の活性化に向けて歩み出しました。

また、香川県内の公立高校の同窓会を対象とする香川県公立高等学校同窓会協議会が発足することになり、同窓会運営の情報交換、事務効率化等各種事業を行う予定で、本会も加入することとなりました。県内各校の同窓会の課題、運営のあり方を共有するとともに、今後に役立てたいと思っています。

近年の少子化による急激な生徒数の減少による学校運営、将来の本会のあり方等の課題も多く、新たな取組みによる変革が必要であると認識しております。地域とともにある母校の維持、発展に向けて、更なる支援が必要なものと考えております。

11月6日には大中三高会総会、懇親会が開催される予定でしたが、コロナ禍の中、残念ですが延期することとなり、また開催日が決まりましたらお知らせしたいと思います。



伝統を礎に新たな三高へ

校長 泉 谷 俊 郎

大中三高会会員の皆様には、日頃より三本松高校の教育活動にご支援をいただき誠にありがとうございます。改めて深く御礼申し上げます。今年度も教育活動を進めていく上では厳しい社会状況ではありますが、安全を確保しつつその中でできる最大限の活動を進めるべく生徒職員力を合わせて取り組んでいるところです。

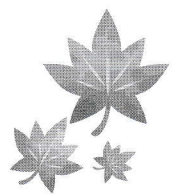
百二十周年記念事業として校歌レリーフを3月に新体育館に掲げさせていただきました。ご支援を頂きありがとうございます。また、百二十周年記念誌「FROM TORAMARU」を発刊し、歴史を踏まえつつ未来を見据え、三高の良さや魅力を多くの人に感じていただくための編集をしました。ご覧いただけましたら幸いです。

百二十周年は、これからの三本松高校の在り方を考え、新たな時代に望まれる生徒育成の方向性を定めていく機会でもあります。予測が難しい時代ではありますが、どのような状況でもたくましく力を発揮できる柔軟性のある人の育成を進めていきます。物質的には恵まれてきた世の中になった現在、幅広い視野を持ち、多様で新しい考え方や価値観に触れて経験を積むことがより大切になって

きています。三高だからこそできる教育活動を生徒に提供し、地域から必要とされる人づくりに貢献できる学校、心から入ってよかった、これから高校に入る世代が学びたくなる学校として、従来からの良き伝統を大切にしつつ新たなことに取り組みたいと考えています。

三高を時代と地域から望まれる学校へと整える基盤として、広く地域からも教育活動を支援していただきたく「三本松高校教育後援基金」という形で教育活動用の基金を独立させていただきました。生徒が県外に体験活動に行く、県外から講師を招く、様々な活動を指導してもらう等の費用や補助として、主に生徒の体験、経験重視の教育活動での活用をし、物として形には残りませんが生徒の今後に生きる活用をしていく予定です。同窓会の方々はもちろん、地域の方にも、三高を応援していただき生徒の教育活動を充実させたい趣旨ですのでご理解ください。また、ご賛同いただける方には、別途ご支援についての案内をさせていただきます。

皆様に明るい話題をお届けできるように三本松高校の教育活動を充実させていきますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



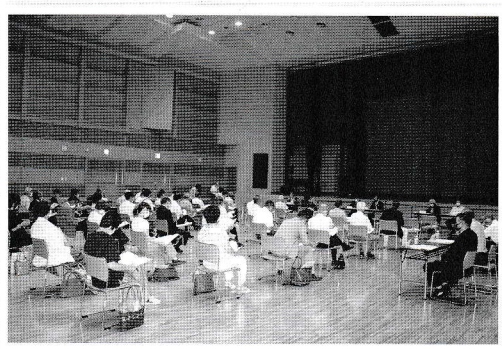
令和2年度 大中三高会会計収支決算書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)
【収入の部】 (単位:円)
科目 本年度決算 摘要
1 入会金 1,650,000
2 会員会費 2,600,419
3 雑収入 56
当年度収入合計 4,250,475
前年度繰越金 7,184,041
令和元年度から繰越
合計 11,434,516

【支出の部】 (単位:円)
科目 本年度決算 摘要
1 会議費 26,839
2 旅費 19,760
3 慶弔費 5,000
4 通信費 148,378
5 事務費 148,709
6 行事費 1,209,245
7 会報発行費 2,579,498
8 学校施設整備費 400,048
9 育英事業費 1,211,990
10 南原文庫充実費 196,557
11 部活動後援費 60,000
12 予備費 0
当年度支出合計 6,006,024
次年度繰越金 5,428,492
合計 11,434,516

次年度繰越金内訳: 普通預金(百十四銀行三本松支店) 5,428,492円

令和3年度 大中三高会会計予算書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)
【収入の部】 (単位:円)
科目 本年度予算 摘要
1 入会金 1,652,000
2 会員会費 2,500,000
3 雑収入 508
当年度収入合計 4,152,508
前年度繰越金 5,428,492
令和2年度から繰越
合計 9,581,000

【支出の部】 (単位:円)
科目 本年度予算 摘要
1 会議費 150,000
2 旅費 350,000
3 慶弔費 200,000
4 通信費 250,000
5 事務費 300,000
6 行事費 1,000,000
7 会報発行費 3,000,000
8 学校施設整備費 1,500,000
9 育英事業費 1,000,000
10 南原文庫充実費 200,000
11 部活動後援費 500,000
12 予備費 50,000
当年度支出合計 8,500,000
次年度繰越金 1,081,000
合計 9,581,000



令和3年度大中三高会理事会
(東かがわ市交流プラザ)

令和3年7月31日、午後2時より東かがわ市交流プラザにて開催しました。67名の出席があり、議題にそって進められ、午後4時閉会しました。

令和3年度
大中三高会理事会

- 令和2年度 事業報告
会議の開催
○理事会 6月17日 書面決議
○幹事会
(第一回) 5月22日 書面決議
(第二回) 7月30日
三本松高校 とらまるホール
(第三回) 3月19日
三本松高校 百周年記念館
○三役の会 5月14日
三本松高校 大会議室

- 議事
一、令和2年度事業報告について
二、令和2年度会計報告について
三、令和3年度事業計画について
四、令和3年度予算書について
五、役員の変更について
(別紙:役員一覧表のとおり)
一五は可決されました

- 令和3年度 事業計画
○会長・副会長会
(第一回) 11月24日
三本松高校 校長室 7名
(第二回) 1月29日
三本松高校 校長室 8名
大中三高会報「第49号」発行
9月15日 17700部発行
会員及び生徒に配布
育英事業(奨学金の給付)
11月に選考決定し23名に給付
南原文庫の充実
生徒用図書購入 152冊
「岩波ブックレット」「岩波ジュニア新書」
「なるにはBOOKSシリーズ」他
支部総会等開催(すべて中止)
東京支部・関西支部
高松支部・県庁虎丸会
創立百二十周年記念事業
○会員名簿の発行(10月)
○記念誌の発行(2月)
○校歌レリーフの設置(3月)

- 令和3年度 事業計画
会議の開催
○理事会 7月31日
○幹事会 2月中旬
○会長・副会長会
5月12日、7月15日
1月中旬
大中三高会報「第50号」発行
10月1日
育英事業(奨学金の給付)
11月に選考決定し給付
南原文庫の充実
生徒用図書購入
支部総会等開催
関西支部・県庁虎丸会(未定)
東京支部・高松支部(中止)
創立百二十周年記念行事
○タイムカプセル開封式
○式典および講演会
○大中三高会総会および祝賀会

東京支部

東京支部の思いと現状

支部長 永峰 徹
(三高18回卒)

東京支部総会は10月の第3土曜日に毎年開催してきましたが、コロナ禍の中で令和二年、三年の支部総会開催を中止しました。楽しみにして頂いていた会員の皆様には申し訳ありませんが、来年度は開催出来ると思いますのでご期待下さい。

毎年開催してきた総会には、母校の先生方や大中三高会役員及び地元市長さん等が来賓として参加して頂きました。東京支部の会員も大中卒業の大先輩から大学生まで幅広い参加者が結集してきました。来賓者からは母校の状況や故郷の話題等の話を聞かして貰いました。懇親会では支部会員の講演会で貴重な体験、話題を披露して頂きました。新人紹介や二次会では大いに盛り上がった事を昨日のように覚えています。総会後は故郷への思いや明日への活力を頂きました。

現状の東京支部会員は、約600名ですが、東京支部を長年支えて頂いた大中、三高一桁代の参加が毎年減少している状況です。東京支部は、学生さんの参加も呼びかけていますが出席者も少なく、全体の参加者も現状維持の状態が続いています。今後の課題は、支部活動を活性化して幅広い会員の参加を得る事です。

現在、役員間の連絡はメールですが、意見交換や日常的な広報活動の一環として支部のホームページを企画しています。

まだコロナ禍の最中ですが、ワクチンの浸透等により来年度は笑顔で再会できる事を楽しみにしています。

関西支部

関西支部活動

支部長 谷口 廣重
(三高25回卒)

令和元年五月に関西支部の総会(同窓会を開催してからその後は新型コロナウイルス感染症で令和二年は中止して、本年も集まれる状況ではありません。

大阪香川県人会や関西の香川県高等学校同窓会も相次いで中止になり、総会開催の見通しが全く立たないのが現状です。

会員交流の場が閉ざされている中で幸いにも四年前(平成二十九年)から毎年の総会報告支部情報や会員の寄稿で会報(支部だより)を発行し、一部の会員に配布しておりました。

今年は特別な年であり、幅広く会員から便りを募って特集を組む予定にしております。会報を通して会員同士の交流の輪を広げて絆を深める一助になればと思っております。

課題は総会の参加者が年々減少しており前回は約四十人で最小でした。この人数は全会員の4%と低調です。

今後はどこでも参加できるリモートでの会合(会議、打ち合わせ、総会)を取り入れて、より多くの関西支部会員や三高関係者が交流し易い環境を整えて行きます。

関西支部への問い合わせは次のメールアドレスまで

daityu.sanko.kansai@gmail.com

高松支部

令和3年度も高松支部総会を中止に致しました。

支部長 軒 原 正 浩
(三高30回卒)

高松支部の会員並びに同窓生の皆様には、日頃よりご支援・ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

令和3年度の高松支部総会開催につきましては、新型コロナウイルス感染症による感染拡大を防止するために昨年に引き続き、誠に残念ながら中止とさせて頂きました。

今年はコロナ禍により一年延期となっていた東京オリンピックが7月23日に開幕し、57年ぶりに東京の地に聖火が灯されました。当時4歳の私は両親に連れられて聖火リレーを見学に行った記憶しか残っておらず、今回は競技を直に観戦できることを楽しみにしておりましたが、緊急事態宣言下で開催されたためにテレビ観戦となりました。日本選手の活躍は素晴らしい、香川県出身者からも夏季大会では4人目(5個目)の金メダリストが誕生しましたが、近い将来我が母校出身者の活躍する姿を見たいと思いを巡らせながら開幕を迎えました。

まだまだコロナ禍が終息するまでには時間を要すると思いますが、来年度の支部総会開催の暁には、皆様と笑顔で再会できますことを、そして母校の校歌を合唱できますことを役員共々楽しみにしております。

三高22回卒業有志より
卒業50周年
記念寄付

卒業50周年を祝い、同級生に呼びかけ集めた寄付金を令和3年3月5日に三高22回卒業生代表の方よりいただきました。

校長より、「生徒の活動のために活用させていただく。」とお礼の言葉がありました。



左から泉谷校長、三高22回卒業生代表の松井さん、江元さん、多田さん、高嶋さん、香西さん(校長室にて)

この寄付は、平成5年に始まり29回目となります。

このたび、「香川県立三本松高等学校教育後援基金」(9頁参照)が設立されたことで、今後、卒業50周年記念のご寄付はこの教育後援基金の財源として、生徒の活動のために有効に使ってまいります。

校歌レリーフへの想い



藤井 俊二（翔夢）
（三高39回卒）

「もしもし、藤井さんですか？三本松高校の校長の泉谷です。」

その日は突然やってきた。お話を伺いすると、創立百二十周年記念事業として体育館を新築し、そこに新しい「校歌のレリーフ」を掲げたいので校歌を書いて欲しいとのこと。

最初、なぜ私が？と不思議だったが、卒業生で書道家を探していたところ同窓生などあらゆる情報からSNSを通じて私のブログを読んでくださりご依頼くださった。

幼少期から書道を習い、数々のコンクールで賞を獲得するも途中から野球に明け暮れ甲子園を目指していた。もちろん三高野球部に入って「甲子園に出る！」そう思っていた。しかしながら、理数科に進学した私は、夢儚く野球を断念した。

三高を卒業し、大学で建築学科に進みやがて建築家になり独立するも「甲子園を諦めた」過去の自分がいつも蘇ってくる。

もう一度と諦めたくないと五十歳で一念発起し書道家へ転身した矢先で校歌のご依頼であった。

こんなに光栄なことはない。京都で暮らしていた私は、早速校長先生を訪問した。泉谷校長の熱い想いをお聞きして先代の校歌を拝見し構想を練った。

こだわったのは和紙。兵庫県多可町の「杉原紙」に出会い多可町の手漉き工房まで出向いて和紙を選択した。墨は、奈良の古梅園の固形墨を使用。

今の世代の生徒たちも読みやすいように大きく書体を崩さず、それでいて私の大好きな校訓「友愛・誠実・剛健」を自分なりに表現した。

校歌と言えは高校野球。かつて私が甲子園を諦めて後悔したことが糧となり書道家になつて校歌を書かせて頂くことで夢が実現した。

この校歌を見た生徒や学校関係者の皆様が、夢を諦めず挑戦し幸せな人生を送りますように。

マスターズ甲子園

香川大会初代王者に

野球部OB会長 久保 輝 起（三高34回卒）

三高野球部は、これまでに春一回、夏3回の甲子園出場を果たしています。新型コロナウイルスの影響で2年ぶりに開催された夏の香川県予選では、準決勝まで勝ち進み、惜しくも甲子園出場を逃しましたが、4年前に全国ベスト8に輝いたことは、記憶に新しいところです。

一昨年には、県内の野球部OBが集まり香川県高校野球マスターズ連盟が発足、今夏には、香川県高校野球連盟の協力を得て、第1回マスターズ甲子園香川大会が開催されました。

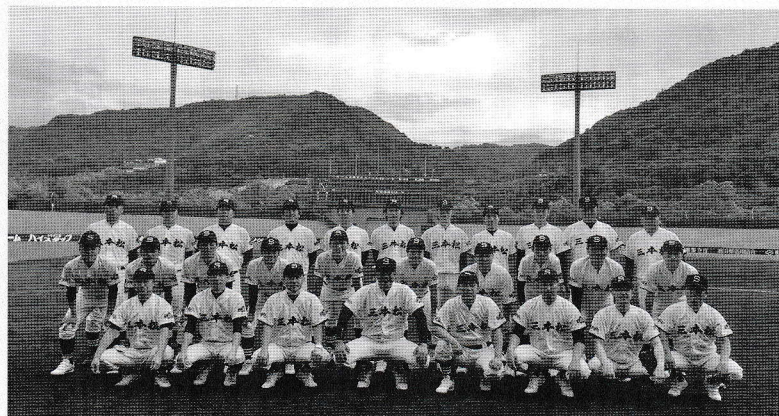
現役さながらの白熱したプレーが展開される中、私自身も40年ぶりに「三本松」のユニホームに袖を通し、緊張感を持つてベンチから応援しました。三高OBチームは、持ち前の強力打線が爆発し、見事優勝。香川県初の代表として、甲子園への出場権を獲得しました。大会を通して、優勝とともに、年代を超えてOBの交流が深まったことは大きな喜びです。

本大会は、12月4日に甲子園球場で開催され、第4試合で愛媛県代表の今治北と対戦しますので、多くの皆様の応援をよろしく願います。三高野球部OB会のホームページにも紹介していますのでご覧ください。

最後になりましたが、同窓会の皆様方には、日頃、野球部の活動にご支援、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

今後とも、よろしく願いいたします。

マスターズ甲子園香川大会の結果
二回戦 三本松6ー5高松西
準決勝 三本松7ー2高松商業
決勝 三本松13ー2観音寺総合



マスターズ甲子園香川大会で優勝した野球部OBの皆さん(レクザムスタジアム)

◆叙勲・褒章

旭日双光章「地方自治功労」

石橋 英雄(三高19回卒)

瑞宝双光章「警察功労」

梁木 初男(三高17回卒)

瑞宝双光章「元大蔵事務官」

橋本 光一(三高2回卒)

瑞宝双光章「元法務事務官」

古川 一裕(三高2回卒)

瑞宝单光章「消防功労」

有馬 正則(引田17回卒)

正六位「元長尾町立前山小学校長」

山本 勝美(大中41回卒)

知事表彰

「交通安全功労」

森 千芳(三高21回卒)

「男女共同参画功労・高齢者介護功労」

吉岡 和子(三高10回卒)

「保健衛生功労」

赤松美智代(三高32回卒)

「中小企業振興功労」

友國 誠二(三高23回卒)

香川県教育文化功労

「教育行政功労」

竹田 具治(三高21回卒)

「学校教育功労」

竹内 伸(前校長)

「教育功労」

六車 真弓(三高34回卒)

簀根 昌代(三高34回卒)

北村 正清(三高34回卒)

竹下 裕子(旧職員)

優秀技能功労賞

日本健康科学研究センター 岩倉泰一郎

(三高19回卒)

「皮膚に塗布後、約30秒以内に約30μmの透明の耐水性皮膜を形成する外用製剤の開発」

(敬称略)
長年の功績をたたえ、心からお喜び申し上げます。

◆寄 贈

帖佐 寛章(三高1回卒)

「日本陸上界の真実」

安倍 道典(三高3回卒)

「昭和思い出の記」

「大映テレビ50周年記念誌」

川北 文雄(三高12回卒)

「三本松高校関係資料」

岩倉泰一郎(三高19回卒)

「香川県詩集」第24集2020年度版

富山 時数(三高20回卒)

「学校祭プログラム」(昭和42年)

「蛍雪グラフー三本松高校特集号ー」

(昭和44年)

藤井 翔夢(三高39回卒)

書「三本松高校 校歌」

旧夏の坂道シンポジウム実行委員会

「夏の坂道」

(敬称略)

皆様より書籍等の「寄贈をいただきました。誠にありがとうございました。」

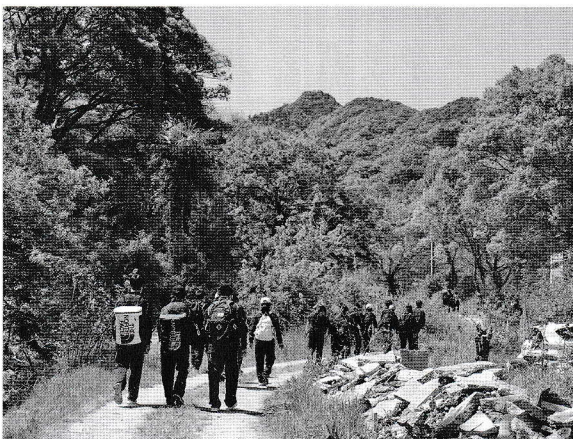
創立記念日(虎丸登山)

(令和3年4月26日)

第88回目となる虎丸登山を創立記念日である4月26日に実施しました。この登山は本校の創立記念日の伝統行事として昭和9年から続いています。

昨年は、休校中のためやむを得ず中止となったため、2年ぶりの実施となりました。1・2年生は初めての登山になりました。心地よい春風の中、全校生で山頂をめざし、最後の急な斜面では、応援団による太鼓の音と声援を受けながら登りきり、頂上からのすばらしい眺望を楽しみました。

好天に恵まれさわやかな一日となり、帰校後、生徒たちには大中三高会から紅白餅がふるまわれました。



417mの虎丸山頂を目指し入山

南原ウォーク

(令和2年12月12日)

7回目となる「南原ウォーク」が晴天の下実施されました。

このウォークは、本校の偉大なる先輩、南原繁先生が歩いた相生村南野から正覚寺までの約10kmの道のりをたどるイベントです。数々のゆかりの場所を訪れながら、先生を偲び、その名と功績を広く知り、後世まで伝えることを目的としています。

旧相生小学校跡にある南原先生の胸像前に生徒会役員、生徒の有志、大中三高会役員の他、東かがわロータリークラブの皆さん、総勢85名が集まり9時に出発。学校に帰着後、食堂でおにぎり、豚汁をいただき、解散しました。



相生小学校跡の南原繁先生の胸像前にて

部活動等の活動状況

令和2年度

東洋大学第34回現代学生百人一首
入選 金地卓希

「毎朝の あるようでない 指定席
いつもの顔ぶれと あと何回か」

香川県高等学校新人ソフトテニス競技大会

▽女子団体 ベスト8(波柴、遠藤、安藝、木村、小田、藤村、三好)

香川県高等学校新人柔道競技大会

▽男子個人 60kg級 3位 長田雅弘
全国高等学校弓道選抜大会香川県予選

▽女子個人 2位 富田 汐音
会長杯弓道大会(1年生大会)

▽女子団体 優勝(吉田、真部、大山)
▽女子個人 2位 吉田夕唯
3位 大山麗美

香川県高等学校新人弓道競技大会

▽男子団体 3位(玉岡、大池、竹下、竹本、三好)
香川県高等学校新人フェンシング競技大会

▽男子総合 2位 ▽女子総合 優勝

▽男子団体 サークル 1位(明石、井内、高尾)
↓全国選抜四国地区予選会出場

フルール 2位(明石、井内、高尾)

▽女子団体 サークル 1位(奥谷、植村、丸田、樋口)
フルール 2位(奥谷、宮西、植村、樋口、丸田)

▽男子個人 サークル 優勝 明石 蓮
2位 井内颯太

▽女子個人 サークル 優勝 植村紀香
2位 奥谷菜々美
3位 丸田萌音

フルール 優勝 奥谷菜々美
2位 植村紀香
3位 宮西 舞

エペ 3位 宮西 舞
全国高等学校選抜フェンシング大会・四国地区予選会

▽男子団体 サークル 1位(明石、井内、高尾)
↓全国選抜大会出場

▽女子団体 サークル 2位(奥谷、植村、丸田)
↓全国選抜大会出場

香川県フェンシング選手権大会

▽女子個人 フルール 3位(宮西 舞)
全国高等学校選抜フェンシング大会

▽男子団体 サークル 3位(明石、井内、高尾)



香川県高等学校総合文化祭

【書道】優秀賞 網本莉子・全国総文祭出品
全日本アンサンブルコンテスト東讃・高松大会

▽打楽器3重奏 金賞(大淵、黒川、松岡)
▽クラリネット3重奏

金賞(板坂、多田、鏡原)

▽サクソス4重奏 金賞(永峰、田中、杉本、沢地)

金賞6重奏 銅賞(板坂、奥谷、古川、松村、玉越、川口)

木管3重奏 銅賞(黒田、植村、板坂)

全日本アンサンブルコンテスト香川県大会
▽サクソス4重奏 銅賞(永峰、田中、杉本、沢地)

令和3年度

香川県高校生科学研究発表会

【課題研究部門】
最優秀賞「金属樹とイオン化傾向の矛盾」
(伊澤、大下、佐藤、藤森)

優秀賞「実用可能なカゼイン樹脂の作成
(添加する酸の違いから探る)」
(渡邊、松浦、池田、竹本、松下)

東讃高校弓道大会

▽男子個人 3位 中川阿須磨

全国高校野球選手権大会香川県大会

ベスト4(山花、安藝、三好、筒井、石原、石井、三橋、佐藤、赤壁、杉本、山蔭、貫、多田、土谷、松本、三宅、児嶋、宮武、大石、神野)(スコアラー…池田、大山)

香川県高等学校総合体育大会

【卓球】
▽女子団体 ベスト8(木内、井川、渡邊、八木、天谷、西川、野瀬)

【ソフトテニス】

▽女子団体 ベスト8(波柴、遠藤、安藝、木村、藤村、川西、上枝、杉浦)

【弓道】
▽男子団体 3位(中川、味浪、三好、橋本、大池、玉岡、竹本)↓四国大会出場

【フェンシング】

▽男子団体 フルール 2位(明石、井内、高尾、大島、太田)↓四国大会出場

フルール 3位(奥谷、宮西、植村、樋口、丸田)

▽女子個人 サークル 1位 明石 蓮
↓全国大会・四国大会出場

▽男子個人 サークル 2位 井内颯太↓四国大会出場

エペ 5位 高尾千颯↓四国大会出場

▽女子個人 サークル 2位 植村紀香↓四国大会出場
3位 丸田萌香↓四国大会出場

【陸上】
▽女子 棒高跳び 2位 坂内祭莉
↓四国大会出場

全国高等学校選抜大会

【フェンシング】
▽男子個人 サークル 2位 明石 蓮

▽女子 棒高跳び 2位 坂内祭莉
↓全国大会出場

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

【フェンシング】
▽男子個人 サークル 明石 蓮

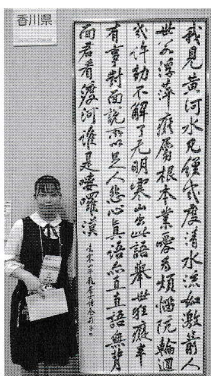
▽女子 棒高跳び 坂内祭莉

全日本吹奏楽コンクール香川県大会

A部門 銀賞

【書道】特別賞 網本莉子

「臨 寒山子龐居士詩卷」



うどん県書道パフォーマンス大会

3位 朝日、網本、赤澤、石原、村井、藤澤、大塚、近藤、岡本)

全国高校総合体育大会 定時制

▽男子個人 90kg超級 岡部 大
63kg超級 田中瀬奈
52kg級 細川竜美

▽女子個人 90kg超級 岡部 大
63kg超級 田中瀬奈
52kg級 細川竜美

三高生の自主的な活動

三高生は学業、部活動を主体的に行い、さらに自主的な活動にも取り組む「三高生三本の柱」をめざしています。学業に目標をもって真剣に取り組む「三高型部活動」では生徒主体で短時間集中の活動で目標に向かう高いレベルでの文武両道を実施しています。そして三本目の柱としての自主活動の実施を進めており、それぞれの状況に合わせて、自分の意志で校内・校外を問わず何らかの活動を行うとしています。

「三高みんなの食堂プロジェクト」

生徒が地域の方とともに学食づくり

自主的に集まったプロジェクトリーダーが中心となって様々な活動をし、運営の農業法人（生産者）の方や応援してくれている方々と生徒が力を合わせてよりよい学食にする。その活動を通して、将来に繋がる多くのことを身につけています。

昨年9月に学食をリニューアルし、新たな形としての食堂を再開しています。生徒数の減少や食環境の変化で経営的にも難しい学食を生徒を主役とし、教育や交流の場にもすることで多様な機能をもたせる今までにない取り組みを進めています。

- 生徒が良質で安価な食事を得られる。
- 生徒の多様な活動と学びの場。
- 生徒と地域との交流の場。

このコンセプトで生徒が地域の人の思いや良い食材と接し、この地域の一員であることに誇りをもつ。力を出し合って自ら所属場所をよくするコミュニケーションづくり体験をすることで、将来を担う意識を高めていくことをめざしています。

活動は「プロジェクト」という自分の時間で自主的に参加する形で実施し、リーダーの活動とそれを全校生がそれぞれ可能な形で応援する。授業でも部活動でもない活動と位置付け、自ら出せる力を発揮する場として設定しています。

リーダーはしたいことを考え、総務、広報、畑、メニュー開発、内装、イベント等のチームで活動しています。校内の空地を開墾しての作物作り、毎日の手書きメニューの掲示、独自ホームページの作成、規格外野菜活用のメニュー考案、地域産業の廃棄物である革の端材で暖簾作り、冷凍飲料の仕入販売などを行っています。



昼食時の様子

地元食材の豊富な日替定食

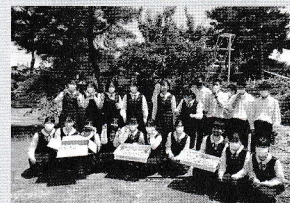
また、このプロジェクトは、SDGsの視点をもつて活動し、地産地消や食品ロスの減少に向けて、規格外野菜の積極的な活用、メニューを日替わり定食と弁当のみの

事前食券制にして無駄を出さないこと等に取り組んでいます。

活動を通して、どんな主体的に活動する姿から、場があれば発揮できる三高生の潜在的な力を改めて感じています。



革の端材を使っの暖簾作成



梅ジュース作成用のウメの収穫

再開にあたり同窓会に照明をLEDライトに変えていただき、PTAに厨房機器の整備など様々な面で多くの方々にご支援いただいています。厳しい状況の中で引受けてくれた農業法人の思いやりある運営のおかげで生徒は地元食材を多く使った栄養バランスの良いものを食べることができています。飲食店の方に三高で食事を提供してもらう「日食堂」、餅つき等のイベント、木のお盆や器の提供、余剰野菜の提供、生徒の指導等で卒業生や地域の方にたいへんお世話になり多くのことを得ています。また、地域の事業所やイベントからの弁当注文をいただき、経営面も含めて良い状態で継続していくためのご支援を頂いていることに感謝しています。

状況が収束すれば地域の方にも食堂を利用していただき交流を深めていくことと、この取組を地域と学校の連携による食のモデルケースとして他にも広めていければとの思いで生徒たちも活動していますので、引き続き応援をよろしく願っています。

「虎丸ゼミ」

放課後や休日に行う自由参加のゼミ

希望生徒が自らエントリーし、各界で活躍されているプロフェッショナルに話を聞かせていただいた後、双方方向に意見交換するゼミです。昨年11月から始め、これまで不定期に11回開催しました。

地域や医療、NPOの活動など内容は多岐にわたり、東かがわ市の協力により、各課との意見交換ができる「シリーズ市役所」も始めています。卒業生では、東かがわ活性隊長で味道源の上原さん、プロ野球選手になつた三好さん、23歳で起業した黒川さん、香川大学生で引田のアートプロジェクトの三谷さんなどが講師として協力してくれています。生徒が講師となつて実施した回もあります。

また、警察の方による鑑識体験など実習を伴うゼミも行い貴重な経験を積んでいます。生徒に日頃意識していない社会の様々な面やわかつているつもりで詳しく知らないことなど、視野を広げ多くのことに触れる機会をたくさん提供していき、自ら積極的に動いて多くのことを感じ取ってほしいと考えています。



三好大倫選手によるゼミ



警察の方による鑑識体験



Blood Donation Project



日本一小さな県の取り組みを全国へ

令和9年頃、医療用血液が慢性的に不足すると予測されている。その原因は、高齢化に伴う血液需要の増加と献血者数の減少である。特に「若年層」の献血者数は他の年代と比較して少ないのが現状である。

「この状況を変えてみない？」と生徒会に投げ掛けたのが令和2年の1学期であつた。

5名が興味を持ち活動が始まった。

「若年層の献血者数を増やすために同じ志を持つ仲間を増やし、活動の輪を広げる」を活動方針とし、①県内高校の横の繋がりを作り活動②他団体との協働で相乗効果を得る③自校での啓発活動に力を入れるを目標とし、まずは、県下42校へネットワーク結成を呼びかけた。7校の賛同があり、令和3年1月「香川県高校生献血ボランティアネットワーク」を結成した。これからと考えていた矢先に新型コロナウイルス感染症が拡大し、ネットワークメンバーが集まらなくなった。しかし、出来ることを



結成式での取材(丸亀レッツホールR3.1.7)

模索し、ラジオ番組、新聞投書欄への投稿などで献血の協力を訴えた。

毎度始めにはネットワーク参加校を募集し、令和3年度は17校で活動している。

「なぜこの方法で、なぜこのタイミングで、何のために」と考えて活動することは、今後の人生の中で、きつと役立つであろう。

この高校生ネットワークの取り組みを全国の高校生に知ってもらうため、令和2・3年と「高校生ボランティア・アワード」に参加した。



また、本校は令和3年9月献血推進団体として厚生労働大臣感謝状を頂いた。



令和3年度 本校の活動メンバー

令和2年度進路状況

(過年度卒業生を含む延べ合格者数)

○国立大学 23

京都大1 島根大1 岡山3 徳島大5
香川大11 高知大1 九州大1

○公立大学 27

公立鳥取環境大1 新見公立大1
尾道市立大1 香川県立保健医療大2
高知工科大2

○私立大学 211

慶応大1 国士舘大1 東京理科大1
早稲田大1 京都産業大1 同志社大2
立命館大9 龍谷大2 大阪経済大6
大阪工業大3 大阪商業大1 関西大2
関西外国語大1 近畿大25 阪南大11
桃山学院大1 関西学院大4 甲南大4
神戸学院大6 武庫川女子大2
岡山理科大11 川崎医療福祉大5
就実大6 広島工業大8 四国大7
徳島文理大24 四国学院大2 高松大4
松山大11 その他49

○短期大学 8

神戸女子短大1 香川短大1 高松短大5
精華女子短大1

○各種専門学校 15

大阪航空専門1 穴吹ビジネス3
穴吹リハビリテーション2 穴吹動物看護1
香川県歯科医療専門1 四国医療専門2
四国総合ビジネス専門1
四国職業能力開発大学校1 その他3

○就職関係 8

島根県警1 自衛隊1 (株)FUJIDAN1
タイヤセンターワタナベ1
大川広域消防署1 帝國製薬(株)2
(有)河井葬祭社1

「香川県立三本松高等学校教育後援基金」

発足

このたび、「香川県立三本松高等学校教育後援基金」を三本松高校内に設立いたしました。

この基金は、香川県立三本松高等学校の教育の充実と発展に寄与することを目的とし、次の事業を行います。

- (1)教育活動全般の充実に関する事業
- (2)学校施設・設備の充実に関する事業
- (3)その他必要な事業

組織としては、この基金の目的及び事業に賛同するものをもつて構成し、資金は、一般の寄付金によるものとします。

役員

代表 名淵 薫
副代表 泉谷俊郎
理事 原 彪
橋本真澄
監査 林 周二

会員の皆様はもとより、地域の方々のご協力を節にお願いいたします。

創立百二十周年記念式典のお知らせ

開催日 令和3年11月6日(土曜日)

昨年度、創立百二十周年記念行事を計画し、1年間延期して今年11月6日に式典等を予定しておりました。

誠に残念ではございますが、現在の社会状況から学校での行事に会員の方をはじめ学校外の方にお越しいただくことができません。**記念式典および講演会は、校内のみでの開催**とさせていただきます。また、**大中三高会総会および祝賀会は、延期**とさせていただきます。会員の皆様には、2年間にわたり、開催をお待ちいただき、誠に心苦しい限りではございますが、ご理解いただき、また、皆様でお会いできる日を心待ちにしております。

■ 記念式典および講演会 校内のみで開催

会場 三本松高校 第一体育館

日程 12:30～13:00

創立百二十周年記念式典

13:00～14:30 記念講演会

講演者：鎌田 實氏

(諏訪中央病院名誉院長)

■ 大中三高会総会および祝賀会 延期

創立百二十周年記念誌

「FROM TORAMARU」の販売について

内容 A4版 116頁(2010年～2020年の歩みを収録)

価格 1冊 2,000円(送料込み)

※申し込みは、下記の大中三高会事務局にご連絡ください。



事務局からのお知らせ

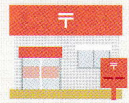
◆会費納入について<年会費2,000円>

今年度より、コンビニでの振り込みが可能となりました。次のいずれかの方法で、会費の納入をお願いします。



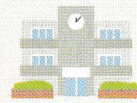
A コンビニで 振り込む

令和3年12月31日までにお振込みください。その後は、郵便局でのお振込みとなります。



B 郵便局で 振り込む

令和4年3月31日までにお振込みください。なお、1月17日より納入者にも手数料が必要となります。



C 窓口で 納入する

三本松高校事務室で直接納入ください。
(平日8:30～17:00)

※本部役員の皆様には、従来どおり郵便局のみでの振り込み用紙を同封させていただきます。

お近くの郵便局にて、年会費5,000円をお振込みください。

◆会報の送付について

現在、全会員に会報を送付していますが、多額な経費がかかり、会の運営上大きな支障となっています。そこで、次年度より、会報は**会費納入者の方に納入後2年間および卒業後6年間(全員)**に発送させていただきます。今後とも皆様から納付された会費は有効に活用させていただきますので、会費納入にご協力をお願いいたします。

なお、同窓会活動につきましては、三本松高校HPに掲載していますのでご覧ください。

◆住所等変更について 住所等の変更は、下記事務局までご連絡ください。



大中三高会報 No.50 / 2021年(令和3年)10月1日発行

香川県立三本松高等学校同窓会 大中三高会 〒769-2601 香川県東かがわ市三本松1500番地1
Tel&Fax 0879-24-1660 E-mail ashitanitakaku@gmail.com